2026年度（第77回）
全国労働衛生週間を迎えるにあたって
会長メッセージ

はじめに、2026年熊本地震ならびに8月千葉豪雨により、お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

2026年度の全国労働衛生週間は、
「ひとりひとりが貴重な人材　心も体も健やかに　みんな生き生き健康職場」
をスローガンとし、10月1日から10月7日まで実施されます。

全国労働衛生週間は、1950年に初めて実施されて以来、今年で第77回を迎え、職場での自主的な活動を促して労働者の健康を確保することなどを目的として実施されます。

今年度のスローガンは、働く方ひとりひとりが貴重な人材であることを念頭に、心身ともに健康を保ち、生き生きと働き続けることができる職場づくりを目指していくことを表しています。労働者の健康確保を図るには、健康診断の実施を徹底し、その結果に基づく事後措置等を適切に実施することや、メンタルヘルス対策、女性の健康への対応、治療と仕事の両立支援、化学物質を原因とする健康障害の防止対策等の総合的な推進を図ることが必要です。

2025年の産業廃棄物処理業における労働災害発生状況をみると、休業4日以上の死傷者数は1470人となり、前年より143人減少しましたが、依然として他産業に比べて高い状況にあります。今後、人材を確保していくためには、事故なく安心して働くことのできる職場環境づくりは不可欠です。

つきましては、全国労働衛生週間を契機として、経営トップのリーダーシップのもと、労使協力により、職場での自主的な活動を促して、すべての働く人々が心身ともに健康で安心して働くことができる職場づくりを目指していただくよう、お願いいたします。

2026年9月
公益社団法人 全国産業資源循環連合会
会長　永田 雄一